

謹啓 晩秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

本年元日に震度七の揺れを観測した「令和六年能登半島地震」は、家屋の倒壊、道路の損壊、断水等石川県をはじめ北陸地方に甚大な被害をもたらしました。

当初は不安な毎日でしたが、約10か月を経過し、ようやく倒壊家屋の修繕、解体など、復旧に向け一歩ずつ進んでいる状況であります。

普段の生活を取り戻しつつあるとはいえ、和倉温泉にあつては、現在も休業しており、復旧に向けては、まだ先が見えない状況でございます。

我々、青柏祭でか山保存会は、今年五月の祭は神事のみ執り行いました。現在は、山車が巡行する道路の損壊、電柱の傾斜等の社会基盤の復旧等を行政及び協力関係者と協議を重ね、来年の曳山行事開催に向け取り組んでいる状況であります。

青柏祭でか山保存会会員にも家屋が全半壊等した者など、多くの被災者がおられますが、亡くなられた方がおられなかったことは不幸中の幸いでした。

このような中、全国山・鉾・屋台保存連合会を御縁といたしまして、公益財団法人祇園祭山鉾連合会の皆様方から、心温まる義援金をいただき、誠にありがとうございました。ただただ感謝の気持ちでいっぱい

でございます。

いただきました義援金につきましては、倒壊しかけた山車の部材保管庫、神社の修復費用、でか山資材の調達に充てるなど、先人から受け継いだ地域の伝統文化を後の世代に確実に継承できるよう有意義に活用させていただきます。

この度の皆様の御厚情により、来年は、青柏祭でか山が盛大に催され、能登七尾の復興に向けて、大いに元気づけられるものと思っております。

まずは、略儀ながら書中をもって、お礼申し上げますとともに、皆様のますますの御発展と御健勝をお祈り申し上げます。

謹白

令和六年十一月十日

青柏祭でか山保存会

会長 (鍛冶町総代)	高木 純二
副会長 (府中町総代)	丸岡 俊宏
副会長 (魚 町総代)	高瀬 勝成

公益財団法人祇園祭山鉾連合会

理事長 木村 幾次郎 様

会員御一同 様

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度は、公益財団法人祇園祭山鉾連合会の皆様より、令和六年能登半島地震による被害への支援金をいただき、心より感謝いたします。

我々の地域では、幸いにも地震による大きな被害はなく、今年の八月にも例年通り祭りを開催することができました。

しかしながら、石川県七尾市の地震被害を重く受け止め、魚津たてもん保存会として、ご支援いただいた金額を全国山鉾屋台保存連合会北陸ブロックの石川県七尾市青柏でか山保存会にお届けすることを決定いたしました。

我々は、古くから祭りを大切にし、その文化を守り続けてきました。地震により同じ志を持つ青柏祭やその周辺地域が大きな被害にあつたことを受け、我々は被害に遭われた方々の苦難に寄り添いたいと強く思っております。

改めて、公益財団法人祇園祭山鉾連合会の皆様からのご感謝を申し上げます。我々は、この危機を乗り越え、文化の保存継承、未来への発展のため引き続き尽力してまいります。

謹白

富山県魚津市 魚津たてもん保存会

## 御礼状

拝啓 貴会におかれましては益々ご清栄の段お慶び申し上げます

この度は、公益財団法人祇園祭山鉾連合会様には能登半島地震災害支援金を賜り心より厚く御礼申し上げます。去る十一月八日北陸ブロックの6団体に均等に配布させていただきました

全国山・鉾・屋台保存連合会北陸ブロック6保存会に對しご心配ご配慮頂き熱いご厚情に深く感謝申し上げます。この復興支援金を力とし今後の祭り文化の保存継承に大いに役立てたいと思っております

つきましては、公益財団法人祇園祭山鉾連合会はじめ各町会所・観光客・各山鉾保存会の皆様にご深く御礼申し上げます共に皆様方の益々のご清栄とご健康を御祈念申し上げます

またお伺いしてお礼申し上げますが書面にて失礼いたします

敬具

令和六年十一月十二日

城端曳山祭保存会

会長 松平健一

令和6年11月吉日

公益財団法人祇園山鉾連合会  
理事長 木村 幾次郎 様

「御 礼」

謹啓

立冬の候、貴職におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度は、当保存会へご寄付を賜り有難うございます。元日の能登半島地震は、今まで経験のない揺れであり、行事を継承している神社を始め、道路や住宅に少なからず損傷を与え、住民の皆様に物心ともに大きな衝撃を与え、住民のなかには転居を余儀なくされた方もおられます。

私どもの状況をご心配下さり、募金に御尽力していただき、当保存会へもご配分下さり深く感謝申し上げます。

当保存会では、祭礼斎行が震災の影響で危ぶまれていましたが、10月1日の神輿渡御に随伴する曳山巡行及び2日の築山神事を滞りなく実施できたことは幸いなことと存じます。

お祭りの斎行並びに行事の実施は、人々の団結を強め、地域が一つにまとまる力になるということに改めて気づかされた次第です。この度の貴団体によるご寄付は、山・鉾を保存継承している団体の絆の強さを示すものと強い励ましをいただきました。より一層、当保存会の曳山・築山の保存継承に努めていかなければならないとの思いを強くした次第です。貴団体からのご寄付を有効に活用させていただきたく存じます。

貴職のご健勝並びに貴団体の益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹白

放生津八幡宮曳山・築山保存会  
会 長 四 方 正 治

祇園祭山鉾連合会

理事長 木村幾次郎様

拝啓 向寒の候 祇園祭山鉾連合会の皆様におかれましてはますます  
ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびは北陸ブロックの6団体に対して多額のご支援金を賜り、  
厚く御礼申し上げます。過日11月8日に北陸ブロック代表の松平常務理  
事から高岡御車山保存会分を受け取りました。

京都の皆様、募金していただいた観光客の皆様のご厚意には、どれほど  
感謝しても足りません。本当にありがとうございました。

なお申し添えさせていただきますと、今回の地震に関しては富山県にも  
被害はありましたが、私ども高岡御車山十ヶ町および巡行範囲には幸い  
祭りの運営に影響を与えるほどの大きな被害はなく、5月1日に例年通り  
春季例大祭を執り行うことができました。有効活用するためにと頂戴した  
ご支援金ではありますが、壊滅的な被害を受けられた石川県七尾市の  
青柏祭でか山保存会様へ全額お贈りすることといたしましたので、何卒  
ご理解ご了承のほどお願い申し上げます。

また失礼を承知の上、印刷した文書をもって御礼のご挨拶とさせていた  
だきますことにつきましてもご容赦くださいませ。

末筆ながら、祇園祭のさらなる隆盛と、その伝統が永続することを心より  
お祈り申し上げます。

敬具

令和6年11月10日

高岡御車山保存会  
令和6年度会長(年番代表)  
竹田 彰宏

公益財団法人 祇園祭山鉾連合会

理事長 木村幾次郎 様

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別なご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、この度は北陸地方のお祭りの復興のためにと、多大なるご寄付を賜り、誠にありがとうございました。

幸いにも私共は、能登半島地震による影響はなく、祭りも例年どおりに開催することができました。しかしながら、祭りの担い手不足や運営、保存伝承面など、今後の存続をも危ぶまれるさまざまな課題を抱えております。これらの課題の解消のため、そして祭り文化を未来に確実に継承発展させるため、頂戴いたしました寄付を有意義に活用させていただき所存でございます。

どうぞ今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、書中にて御礼申し上げますとともに、貴殿のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

敬白

平成6年11月吉日

村上まつり保存会

会長 渡邊

